

「希望」

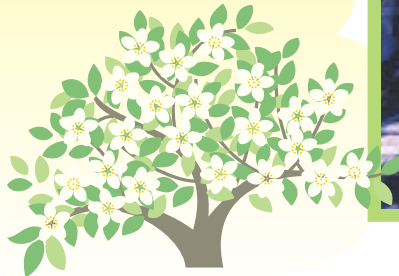
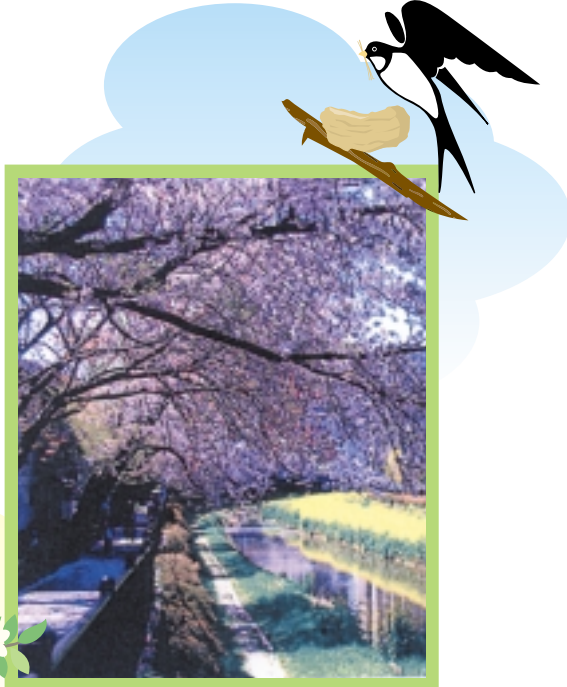
日野クリニック 小柳 洋治さん

私は西暦2005年(平成17年)6月頃に他の病院で透析を求められ、夢も希望も打ち砕かれ大変なショックでした。

その後、10月11日から透析を導入し、これから一生続けるのかと思い、立ち直ることが出来ずにいました。其の内に透析専門の日野クリニックを紹介され、面接して頂き、色々話を聞き多少は楽になりました。働きながら出来る時間帯を世話して頂き、それから3年半が過ぎ、常にクリニックで管理、又自分自身でも管理をして透析にも慣れて、身体も調子が良くなりました。これから透析は私の生活の一部と思って前向きに人生、命がある限り希望を持って生きて行く積りです。

日野クリニックの先生、技士、看護師、又、身の回りを世話して下さいの方々には感謝しております。

これからも御迷惑をお掛けすると思いますが宜しくお願い致します。



ペン&ペアン

陽射しも強くなり、緑も深まりいろいろな生き物たちが輝いています。きっとペットたちも喜んでいてくれるでしょう。(山本)

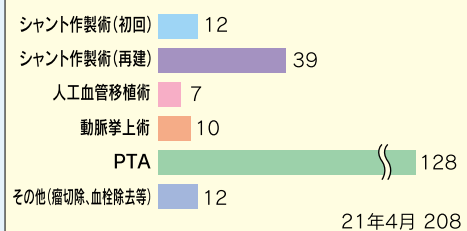
横浜第一病院バスキュラーアクセスセンター

バスキュラーアクセスに専門的かつ総合的に対応するセンターとして、最新の医療技術、設備のもと、迅速な診断、長期に安定したバスキュラーアクセスの作製、維持に取り組んでいます。



センター長 笹川 成

●横浜第一病院バスキュラーアクセス関連手術実績



診療時間 午前9:00～12:00

休診日 日曜・祝日・年末年始

予約制 バスキュラーアクセス外来の診療は予約制となっておりますのでご来院前にお電話でお問い合わせください。(緊急を要する場合は別途ご相談ください。)

専用電話：045-453-6709 FAX：045-441-1565



特集 ペットと私

●知っていて損はしない透析のお話

炭酸ランタン(商品名:ホスレノール®)の位置づけ:

今そこにある生命の危機の回避を選択するか、10年20年先の未知の副作用の可能性を懸念するか

●栄養士の立場から

検査結果表について
No.1 尿素窒素

特集 ペットと私



ペットと共に暮らす生活から感じる安らぎ、癒し。いろいろと世話が大変な生き物たちだからこそ愛情も深まります。そんな家族のようなペットについて語って頂きました。

ジュニア

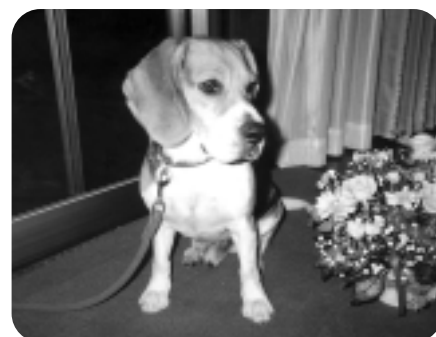
満口第一クリニック 渡辺 久美さん

母と主人と私の三人家族に六年前家族の一員としてやってきました。今では離れられない子供のような存在です。

小さな子犬でしたが今では成長し、私の目を見つめてはおねだりしたり散歩を強要したりで大変です。ビーグル犬で名前はジュニア。いたずらしても悪びれず、尚一層可愛くなります。

散歩が大好きで主人には時々しかられますが、長時間つれていってもらえるので、とても甘えています。私との散歩はもっと早くと催促したり、自分の好きな方向へ行きたがったりで、大いばりです。

私も昨年からは透析の身ですが軽い運動も必要です。ジュニアとの散歩が何よりです。これからも仲良く私達家族のペットとして、ほめられ、怒られて成長して行く事でしょう。



ベルと私

武蔵境駅前クリニック 稲木 大さん

我が家にペットがやってきたのは、長男の少年野球のチームメートのご家庭で七匹生まれた内の一匹で柴系のハーフ犬(ベル)である。御多分に洩れず[僕たちが世話をするから]との約束で飼い始めて十四年が経つ。

六年ほど前、子宮筋腫で手術をする事となり無事退院となり娘と迎えに行くと獣医さんが「稲木さんすいません」と言うのでなにか手術で不都合かと動揺したが獣医さん曰く「ベルちゃんよほどお家に帰りたいのかゲージに鼻をぶつけ続けて、ちょっと鼻に怪我をしました」との事、ドアをあけてベルと対面し、その包帯姿と鼻の傷を見た瞬間、おもわず中年男の目に熱い涙

が流れ ああ…いとしい家族なんだと実感したのです。

おばあちゃん犬(ベル)は私の透析の終了時間に合わせて妻の運転の車の助手席で眠そうに今夜も迎えに来てくれている。



クロの散歩

下北沢駅前クリニック 須堯 典彦さん

「水の飲み過ぎです」「少しは運動もして体重を減らさなくては」透析クリニックの看護師さんの決まり文句です。

いつごろからだったろう、家内の朝の散歩に付き合いだしたのは。私ならいいのですが、これが我が家のペット、白黒ネコの「クロ」なのです。普通ネコと言えば家の周りにテリトリーを作り、その中を徘徊するものですが、クロは朝から家の扉で家内を待ち構え、前になり後ろになり、つかず離れずついて歩くのです。

ヒモにつながれ散歩する犬は良く見る光景ですが、クロのひたすら家内の歩調に合わせて散歩する姿は可愛くもあり近所の子供たちから珍しがられています。私も少しはペットを見習い散歩でもすればドライウエイトも守れるのですが…。



ニモちゃん

粕江腎クリニック 匿名希望さん

私のペットというより、夫と私のペットは海水魚達です。写真が我が家の小さな海の主役のハマクマノミのニモちゃんです。

皆さんにもお馴染みのファインディングニモのアニメから名付けました。ペアのもう一匹はポニョちゃんです。この子の名前もアニメの歌で可愛かったのでポニョにしました。

写真のニモちゃんが入っているイソギンチャクは、おかしな名前でもタマイタダキイソギンチャクといいます。触手の先端が膨らんでいることからそう呼ばれているらしいのですが。この子達はイソギンチャクが大好きで、イソギンチャクに入ったり出たりしている姿は、愛らしく見えて飽きません。夫が水槽に手を入れると、イソギンチャクに何をやる気だいわんばかりに、ニモちゃんは夫の手を突きます。この時ばかりは普段、可愛いと言っている夫も、イテッ!コノヤロー!何

て言いながら世話をしています。

我が家の小さな海には、まだ他のお魚や貝などがいますが、紹介できなくて残念です。夫も私もこの小さな海の世界を大事にして心いやさされています。皆さんも海の世界を想像してみてください。きっと少しは心がいやされると思います。



ロッシュ

藤沢湘南クリニック 上野 リオさん

我が家には2000年生まれの猫が居ます。名前は「ロッシュ」。少し気弱な、お茶目な女の子です。

ウチへ来た頃は部屋の隅をソロソロと歩き、いつも私たちの様子をうかがいながら生活していました。そんなロッシュも年々微妙な距離感で、馴染んでいき、今では鼻唄を歌っているような腰つきで階段を上り下がりし、時々踏み外します。蛇口の側でお湯が欲しいと鳴き、窓辺では外が見たいと呼びつけます。

私たち家族の生活に、ロッシュがどれほど寄与しているのか、それは計り知れません。話題の宝庫であり、癒しでもあります。時に忍耐も

必要とされますが、いつまでも可能な限り側に居て欲しい存在です。



錦鯉

ヘルチェックレディース横浜クリニック 早田 澄雄さん

我家は庭に瓢箪型の2坪程の池があり、中央に深い瓶と家庭用の風呂釜を深く埋めてある。

濾過装置と睡蓮鉢を沈め「ホテイ草」を20個程浮かべている。その池で錦鯉20匹と金魚20匹を飼育している。錦鯉は泳ぐ宝石の異名で形容されているように、生き物としての魚体の一尾一尾の泳ぎを見るだけでも十分にその美しさを堪能する事が出来ます。

朝夕ベランダに座りコーヒーを飲みながらペレット状の餌を投げ込み錦鯉の悠然たる泳ぎ、またある時は機敏に回転する泳ぎを眺めているだけで非常にいやされ心がなごみます。そのために態々新潟県小千谷市(錦鯉の名産地)迄錦鯉を購入に行く程の熱の入れ様です。しかし困った事に3年前より賊が来る様になり、夜行性動物の「ハクビシン」「タヌキ」が、また早朝空から鳥の「ゴイサギ」が錦鯉を食べに来るのでその防備対策に頭を痛めています。

私にとって錦鯉の魅力は簡単には表現出来ません。趣味も池の「鯉」ではなく陸の「恋」であ

ったら更にアバンチュールがあったと思う。

こう云ってられるのも偏ひとえに善仁会の先生を始め看護師他スタッフの皆様方に日々お世話になっている賜物と感謝しております。



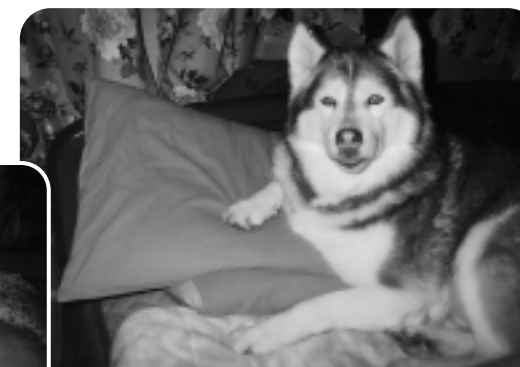
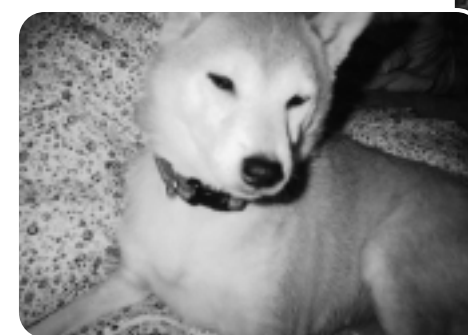
我が家の犬たち

成城じんクリニック 匿名希望さん

我が家には、3匹の老犬が居ます。17才のメスのシベリアンハスキー、その娘のハスキー12才、柴犬のメス10才。中でも17才のハスキーは、今は寝たきりで食事も食べさせてあげないと食べることも出来ません。

今、この時点ではまだがんばって生きていますが、人間で言えば100才を超えています。この犬種で17才まで生きているのはすごいと獣医さんに言われているくらいです。クリニックに行く前に少し食べさせて、帰ってから晩ご飯の犬たちなので、帰ると喜びもひとしおのようですが、体調がいい時はいいのですが、ダメージの大き

い日などは、正直「このまま横になりたい」と思ってしまう。でも、安心して眠っている姿などを見ていると、一日でも長く元気でいなくては、とあらためて思います。なかなかセルフコントロールが上手く出来ず、その決意も怪しいものになりがちですが、犬たちのためにも自分のためにも、もう少し自分に厳しくしてダメージの少ない透析生活をして行けたらと思います。



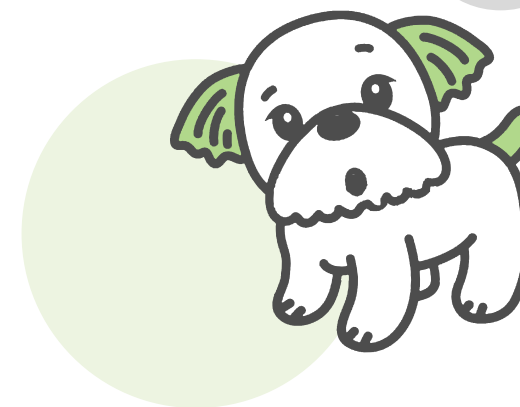
利他心

八王子腎クリニック 匿名希望さん

ペットショップで何時までも売れ残り可哀想なので引取ったという息子が、結婚するのだが新居では飼えないので預かってくれとのこと。息子らしいと困惑したが、家族の一員と思い受け入れた。

中国原産のシーズーで2才のオス。名前はドン。何冊かの本を参考に飼い方を研究したが、得心するには長時間を要した。結論はドンを信じ愛情をもって接し決して怒らないこと。人間関係も同様だが自己中心ではなく、利他心が大切と気づいたのだ。利他とは他を思いやり、憐憫の情で相手を信じ受け入れること。人類は利己心

を優先して進歩してきたが、対極にある利他心をもたないと社会の秩序は維持できぬ。ペットと接するにもこの原則は適用されるべき一種のモラルではなからうか。



知っていて損はない

透析のお話

炭酸ランタン(商品名ホスレノール®)の位置づけ:
 今そこにある生命の危機の回避を選択するか、
 10年20年先の未知の副作用の可能性を懸念するか

横浜第一病院 泌尿器科
 北里大学医学部泌尿器科 非常勤講師
兵藤 透

心臓の冠動脈とは心臓自身に栄養や酸素を運んでいる細い血管のことです。これが石灰化で狭くなると心筋梗塞のため生命の危機が訪れます。透析患者さんの冠動脈石灰化を従来のリン吸着剤である炭酸カルシウムに含まれるカルシウム成分が助長する事はこれまでこの[ふれあい]の記事で取り上げてきました。このカルシウムが含まれていないリン吸着剤が塩酸セベラマー(商品名レナジェル®、フォスブロック®)と炭酸ランタン(商品名ホスレノール®)です。塩酸セベラマーは全く体内に吸収蓄積はしない合成高分子ですが、便秘と腹部膨満感が出現しやすく服用量が多いという欠点がありました。炭酸ランタンはこの3月に使用できるようになったリン吸着剤です。水なしで服用が可能で便秘等の副作用が非常に少なく何よりもカルシウムが含まれていないため冠動脈の石灰化を起こしにくいと考えられています。しかし、懸念材料があります。この薬物は金属で自然状態では生体内にほとんど存在せず、胃や腸から吸収され体内に蓄積するという事です。欧米では6年程度の長期服用では問題が無かった

と報告されています。しかし、一般に金属の中毒症状は長い年月をかけて現れるものです。10年、20年、30年という長い年月をかけて未知の副作用が出現する可能性があります。現に、かつてリン吸着剤として使用されていた水酸化アルミゲルの副作用が臨床医学で気づかれるまで約20-30年を要しています。この副作用の出現に長期間かかるのではないかとこの炭酸ランタンの使用上の位置づけで重要になると私は考えています。

これまでリン吸着剤として炭酸カルシウムが使用されてきた時代の透析患者さんの死因の30-40%は心筋梗塞が関与しており、冠動脈の石灰化が原因の一つと考えられています。糖尿病の患者さんは一般に胃腸の動きが悪いため便秘になりやすく塩酸セベラマーを服用することが困難な場合が多いと言う事実があります。また、熟年以上の糖尿病患者さんではかなりの方が冠動脈に狭窄を伴い狭心症を合併しています。このような患者さんに炭酸ランタンは使用されるべきです。狭心症のある状態に炭酸カルシウムを服用すると冠動脈の石灰化が進み狭心症を悪化させ、ついには心筋梗塞につながります。冠動脈狭窄の進行という今そこにある危機を炭酸ランタンを使用することで少しでも回避するという考え方です。

最後に強調しておきたいのは塩酸セベラマーは冠動脈石灰化に対し有効性が確立された体内に吸収されない薬剤です。便秘や腹部膨満感等の副作用が出現しない患者さんは塩酸セベラマーが第一選択薬です。服用量が多いですががんばって使用を続けてください。

血中尿素窒素は、blood urea nitrogenを略してBUNまたはUNと表示されています。BUNは「ビーユーエヌ」と読みます。

BUN値は、血液100ml当たりの中の尿素に含まれる窒素量(mg/dl)を表しています。この窒素の量を表示することで尿素がどれだけ血液中にあるかを示しています。尿素は食事とった蛋白質(アミノ酸)が体を構成する蛋白質やエネルギーとして使われた後にでてくる余分な窒素を含んだ物質です。体にとって余分な窒素は尿素として尿中に捨てられるいわゆる廃棄物です。尿素自体には毒性はありませんが、この尿素は透析患者さんにとってどれだけ体の中に本来尿中に捨てられなければならないもの(尿毒素)が残っているかの指標になります。腎臓の働きがあると「尿毒素」は、尿として体の外に排泄されます。

一般に透析患者さんでは蛋白摂取量が多かったり、透析量が少ない時(すなわち、透析する時間が短い時、透析時の血流量が少ない時、血液を洗うダイアライザーが小さすぎる時)に上昇します。月に一度、透析前後でBUNの測定をしています。透析前の値と透析後の値を足

して2で割った値がおおよそ週の平均したBUNの値になります。

$$\frac{\text{透析前のBUN} + \text{透析後のBUN}}{2} = \text{週あたりの平均化BUN}$$

この値が65(mg/dl)未満であると合併症を起こす確立が少ないと言われています。逆にこの値が65以上だと合併症が多く、生命予後が脅かされます。65以上の方は蛋白質をとり過ぎている可能性があります。普段より食べ過ぎている量が少なかったかどうか食事内容を見直してみる必要があるかも知れません。蛋白質はリンを多く含むのできつと、週あたりの平均化BUNの値だけでなくリンの値も高い場合が多いと思います。あとでいろいろ見直すことが出来るように食べたものは、忘れないうちに記録として書き出しておきましょう。重量まで記録しているとより正確です。

食生活の見直しを検討するときには、栄養士に相談してください。

News Topics

「新百合ヶ丘ガーデンクリニック」移転開院

4月20日、新百合ヶ丘駅前クリニックは移転し、新たに「新百合ヶ丘ガーデンクリニック」として開院いたしました。地域医療を担う専門医療機関が集結した「メディカルモリノビル」5階の新クリニックは、ゆったりとしたベッド間隔や各々のベッドをパーティションで仕切ることにより、プライベートな空間のリラックスした透析をご提供いたします。また、すべてのベッドが明るい窓に向けて配置していますので、屋上ガーデンの四季の彩りを楽しむことも出来ます。

スタッフ一同、さらなる安心と快適の透析医療の向上をめざして参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-2
 メディカルモリノビル5F
 電話 044-969-3373

栄養士の立場から

第15回

検査結果表について No.1 尿素窒素



横浜第一病院 栄養部
 病態栄養専門師
 日本糖尿病療養指導士
 日本病態栄養学会評議員
 日本CKDチーム医療研究会 幹事
佐藤 恵美子

透析治療を受けるようになると必ず週1回または2週に1回、血液検査の結果が配布されます。

結果が毎回記載されている検査項目もあれば、月に1回しか検査されないため記載が毎回ではない項目もあります。それぞれの検査結果と透析患者さんの状態を確認して透析療法と治療の評価をしています。今回の連載からはこれらの血液検査項目を栄養士の立場から説明していきます。第1回目は、血中尿素窒素(けっちゅうようそちっそ)についてです。